

開館時間：10時～18時
(中央館は火～金：20時)
休館日：毎週月曜日、
年末年始、その他臨時休館
(分館は国民の祝日・休日)

としょかんだより

(中央館) TEL 22-3225 FAX 22-7118 (三和分館) TEL 58-4715 FAX 58-4716
(夜久野分館) TEL・FAX 37-1066 (大江分館) TEL・FAX 56-1017

暗号を解き明かせ!

「暗号」とは、伝えたい人にだけ分かるようにしたり、本人かどうか見分けるために、鍵のような特別な約束事を作って情報をやり取りする技術です。古くから人は、情報を他の人に知られないように色々な暗号を作ってきました。今わたしたちの暮らしには、パソコン、タブレット、スマートフォンの他にもコンピュータがあふれ、情報の秘密を守る暗号が欠かせない世の中になっています。

あなたもカギをみつけて下の暗号文を解いてみて!



- ◆ 参考にした本 ◆
- 『暗号の大研究』 伊藤 正史 / 監修, PHP研究所
 - 『暗号学』 稲葉 茂勝 / 著, 今人舎
 - 『AI時代を生き抜くプログラミング的思考が身につくシリーズ 6』 土屋 誠司 / 著, 創元社

図書館お休みのおしらせ

年末年始

【中央館】 令和3年12月29日(水)～令和4年1月4日(火)

【三和・夜久野・大江分館】

令和3年12月28日(火)～令和4年1月5日(水)

図書館システムメンテナンスのための臨時休館(1月)

【全館】 令和4年1月17日(月)・18日(火) Webサービス停止

蔵書点検(2月) 蔵書点検は、一年に一度、図書館の本を点検するための期間です。

【中央館】 令和4年2月14日(月)～令和4年2月18日(金)

【三和・夜久野・大江分館】

令和4年2月23日(水・祝)・令和3年2月24日(木)

寒い冬！ 体を動かして 心も体もほっかほか。

スポーツの楽しみ、スポーツを
通しての絆に共感・感動する
本を紹介いたします。



『体育がある』 (村中 李衣 / 作, 文研出版)

4年生のあこは体育が苦手。ママは熱心にサポートしてくれるけど、あこの気持ちはしぼんでしまう。ある日、いつもあこをありのままうけとめてくれるばあばがきてくれて…。
体育をめぐって自分に向き合い成長していく女の子をユーモアたっぷりに描いた物語。

『スキーをはいたねこのヘンリー』 (メリー・カルホーン / 文, リブリオ出版)

二本足で歩くことが得意なねこのヘンリーは、家族の人たちと山小屋にでかけますが、帰りの日に間違えて置いてきぼりに。辺り一面の雪の中、歩いてはとてもし帰れない…。そこで、ヘンリーはスキーで帰る決心をします。ヘンリーは、家族と再びたたび会えるのでしょうか?!

『まっしょうめん!』 (あさだ りん / 著, 偕成社)

ブラジルに赴任中の父のたのみで「サムライガール」になるために剣道教室に通い始めた6年生の成美。そこには、剣道に励む仲間との交流や試合など数々の試練が待ちかまえていた。
剣道のことを知らなくても大丈夫。心と体に真正面から向き合う、さわやかな小説です。

本の寄贈

国際ソロプチミスト福知山様より

子どもたちへのクリスマスプレゼントとして、今年も図書館中央館にたくさんの本を寄贈していただきました。今年は「知ろう!調べよう!お金のこと」をテーマに、絵本・児童書をいただきました。ありがとうございました。



★ 児童 おすすめの本 ★

『あくたれラルフ コンテストにでる』

(ジャック・ガントス／文, 大日本図書)

いつも自由にやりたいほうだいのラルフ。ねこの1番をきめる大会でゆうしょうするため、とつくんをはじめます。うでたてふせ、なわとび…など、セイラが考えたとつくんをして、いざコンテストへ！ラルフのあくたれぶりが笑えるたのしいおはなしです。

『ベサニーと屋根裏の秘密』

(ジャック・メギット・フィリップス／著, 静山社)

見た目は青年だが、じつは511歳のエベニーザー。屋根裏の怪物ビーストに食べ物を運ぶかわりに不老薬をもらっている。ある日、ビーストが、子どもを食べたいと言い出した！エベニーザーは、施設で一番の悪がきベサニーを連れて帰るが…。笑いと涙のファンタジー。

『クマが出た！助けてベアドッグ』

(太田 京子／著, 岩崎書店)

ベアドッグは、人とクマが共に生きるために特別な訓練を受けて働く職業犬です。においや気配でクマの存在を感じ、人家に近づくクマを森の奥へと追い返します。人もクマも助けたい！そのために力を発揮するベアドッグの活躍が描かれたノンフィクション。

『しらべるちがいのずかん』

(おかべ たかし／文, 東京書籍)

ゆでたまごと、なまたまご、見ただけでどちらかわかる？ししとう、どれがからいか見ただけでわかる？いろいろなものの「ちがい」をたくさんおしゃしんを使ってわかりやすくおしえてくれます。この本を読んで、あなたもいろいろなものの「ちがい」をしらべてみませんか。

★ ティーンズ おすすめの本 ★

『ボーダレス・ケアラー』

(山本 悦子／著, 理論社)

大学生の海斗は、長期休みに、認知症の祖母と一緒に暮らすバイトをひき受ける。祖母は死んだ飼い犬を散歩させようと、リードを手にして出かけるので、海斗はその散歩に付き合うが、リードに触れると死んだはずの犬が見えることに気づき…。

『闇の魔法学校 Lesson1』

(ナオミ・ノヴィク／著, 静山社)

虚空の闇に浮かぶ巨大な魔法使い養成学校、スコロマンズ魔法学院。生徒はつねに魔物と戦い、死と隣り合わせ。生き残って卒業できるのは、4人に1人しかいない。主人公ガラドリエルは無事生き残ることができるのか？学園サバイバル・ファンタジー。

『見た目レンタルショップ 化けの皮』

(石川 宏千花／著, 小学館)

望む通りの〈見た目〉を貸してくれる、レンタルショップ・化けの皮。美少女になりたい女子高生、ガリガリに痩せた少年になりたいスポーツインストラクターの男性、ちゃんとした大人の女性になりたい少女…。彼らがその〈見た目〉を求める理由とは一。

『13歳から分かる！7つの習慣』

(「7つの習慣」編集部 ほか／監修, 日本図書センター)

「成功を手に入れ、充実した幸せな人生を送る」ための7つの習慣。自分が思っていたのとは違う、まわりの人と合わないなど、不満を抱きつつパン職人を目指す青年が、老人から7つの習慣を教わり成長していきます。教えもわかりやすく、思春期におすすめの1冊。